

# 病院のお仕事いろいろ

## がん患者さんの社会復帰をサポート

New! がん看護専門看護師

左/尾形 美子(おがた よしこ)さん

副看護師長<緩和ケアセンター>

右/一宮 由貴(いちみや ゆき)さん

看護師<東病棟7階>



尾形副看護師長は血液内科病棟で約15年間勤務しており、「血液疾患に関する専門知識を深めたい」、また「移植看護に特化した後輩スタッフを育てていきたい」との思いで、がん看護専門看護師の資格を取得しました。

一方、一宮看護師は採用から外科系の病棟で勤務した中で、担当のがん患者さんを看取ることがありました。何もできなかったことを悔しく思い、資格取得のための最低必要年数の5年間を経て、以前から興味をもっていた資格の取得を目指しました。

尾形副看護師長は5月より緩和ケアセンター、一宮看護師は資格取得中に外科外来に配属され、「病院の中で治療を主としている」入院患者さんと「地域社会の中で生活する」外来患者さんへの対応は大きく違うと感じたようです。こうしたことから、入院時から退院後の生活を考えながら患者さんに接するこ

とを二人とも心がけています。

また、患者さんが「自分らしい」生活を送れるようにと、患者さんの気持ちを一番に考えた意思決定の支援を行っています。

今後取り組んでいきたいこととして、「緩和ケアセンターは入院前から退院後もずっと患者さんに関わることのできるポジションなので患者さんに誠実に接し、病気と言われた時から治療を経て元の生活に戻ってくるまでの期間を通し、患者によりそった看護ができるようになっていきたい。」(尾形副看護師長)。「がん看護専門看護師の資格取得はスタートライン。これから、この資格を活用して何に役立てていけるかを検討していきたい。外来勤務時はがん患者さんのリンパ浮腫へのケア、外見に対するケア体制の構築に取り組んできた。病棟勤務となった今は、入院中から患者さんの退院に向けた支援の充実を図りたい。」(一宮看護師)と、それぞれお話をいただきました。

病院  
ボランティア  
大募集

患者さんのサービス向上のため、ご協力いただける方を募集しています。

● 総合案内 ● 患者図書室 ● その他

■ 病院ボランティアに関するお問い合わせ 徳島大学病院 総務課 Tel.088-633-7463